

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

取説No. M101-251 DL/S・T-07

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU42250L・AU42251L	AC100V	0.13A	7.7W	LED

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

• 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。 	取付高さが3mを超える場所には取付けないでください。 3m以内 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

• 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。

6 自動点滅器(デイトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

7 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットができません。

< 電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合 >

壁スイッチの使用は2個までとしてください。壁スイッチを3個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

< パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合 >

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

〈付属部品〉

- 取付ネジ・・・2本
- エリアマスク・・・1個

1 取付金具を取付ける

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、方向シールの指示に従って、取付ネジで取付ける。

⚠ 警告 方向シールに従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因になります。

2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

取説No. M101-251 DL/S・T-07

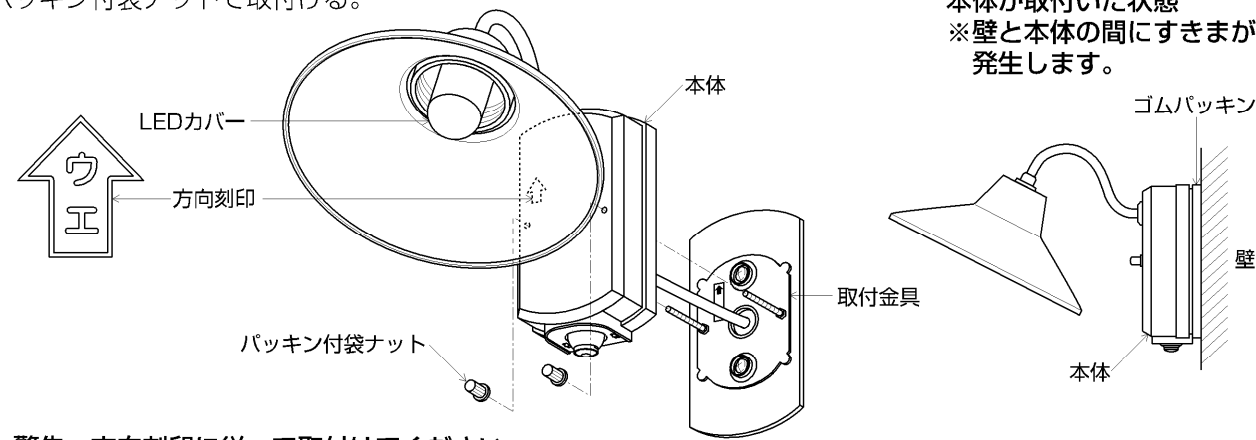
－2－

－3－

取説No. M101-251 DL/S・T-07

3 本体を取付ける

本体を方向刻印の指示に従って取付金具に合わせ、パッキン付袋ナットで取付ける。

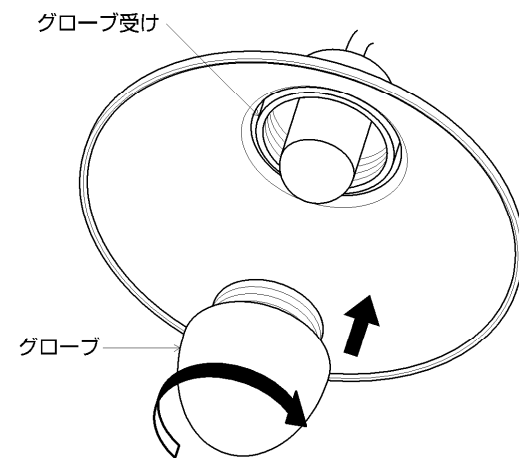


⚠ 警告 方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因になります。

⚠ 警告 LEDカバーをはずさないでください。
やけどの原因になります。

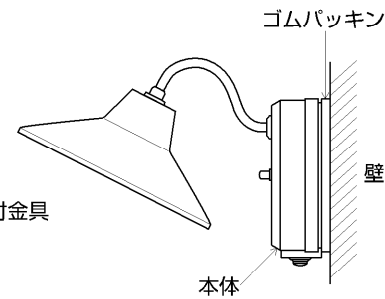
4 グローブを取付ける

グローブをグローブ受けに合わせ、矢印方向に回して取付ける。



5 点灯の確認を行なう

本体が取付いた状態
※壁と本体の間にすきまが発生します。

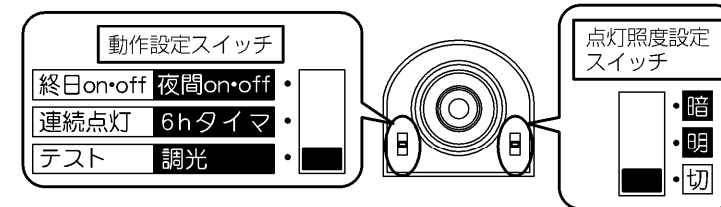


■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に、動作設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

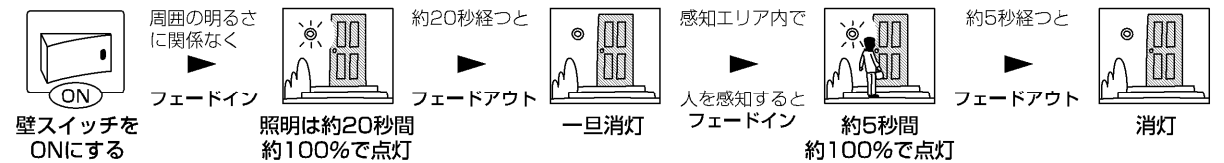


フェードイン・・・徐々に明るくなり、
約100%で点灯
フェードアウト・・・徐々に暗くなり、
消灯

q 電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。
結線および負荷の作動を確認できます。

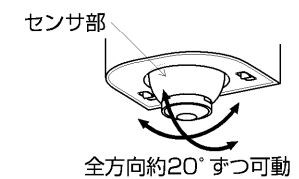
w 明るい時(昼間)でも人を感知することにより約5秒間点灯します。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



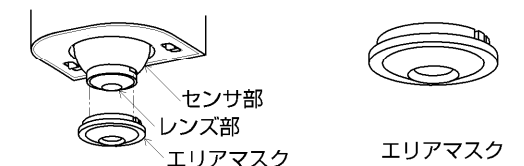
●センサを動かして感知エリアを調整できます。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

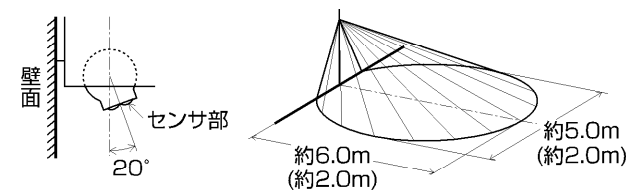


●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。

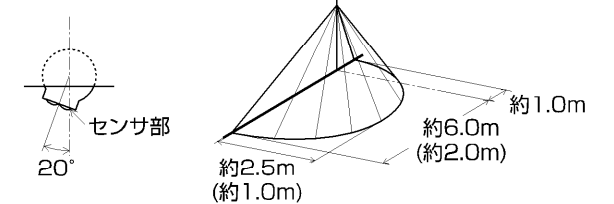
エリアマスクの凸部をセンサの凹部に「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



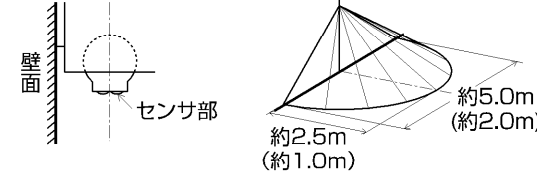
●前方へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



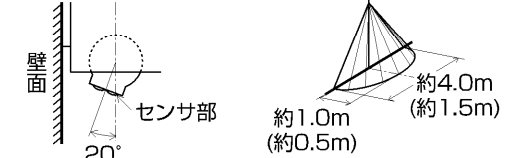
●横方向へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



●可動角度0°の場合<高さ 2.0m>



●手前(器具側)へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



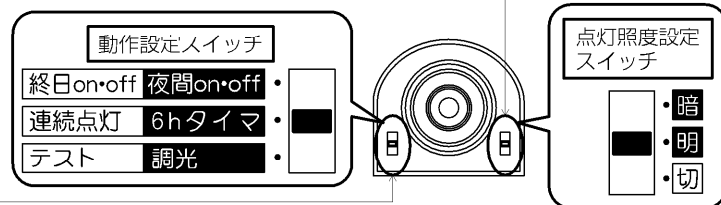
※()内はエリアマスク使用時

※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

■センサの内容



動作設定 スイッチ	テスト 調光			連続点灯 6h タイマ			終日on・off 夜間on・off		
点灯照度設定 スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	テストモード	調光モード 約45r xで点灯	調光モード 約15r xで点灯	連続点灯 モード	6時間 タイマーモード 約45r xで点灯	6時間 タイマーモード 約15r xで点灯	終日on・off モード	夜間on・off モード 約45r xで点灯 できる状態	夜間on・off モード 約15r xで点灯 できる状態

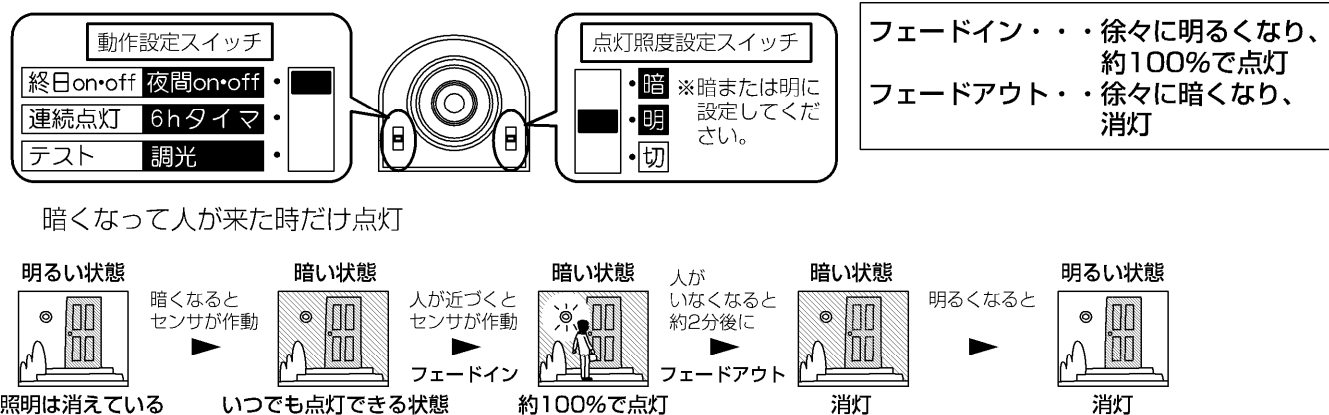
※センサが感知すると、約2分間点灯します。(テストモード・連続点灯モードを除く)
点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。
誤作動する場合があります。

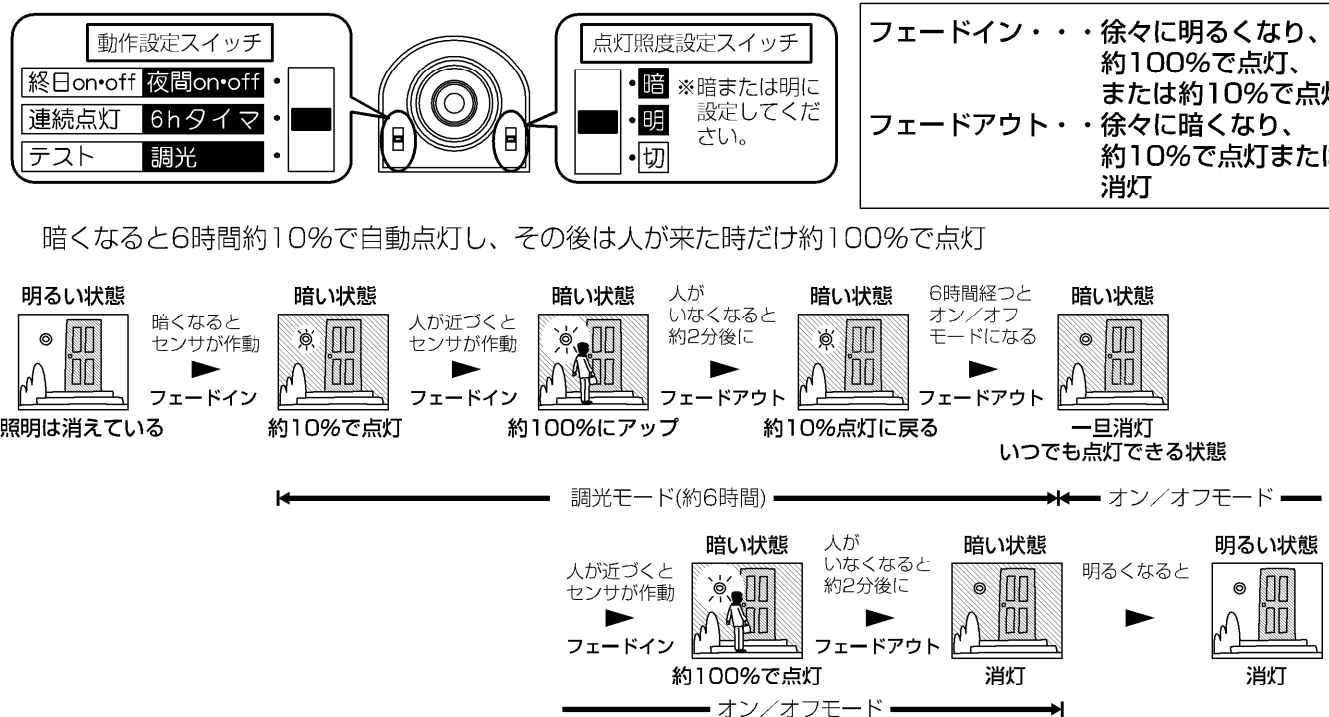
■ センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

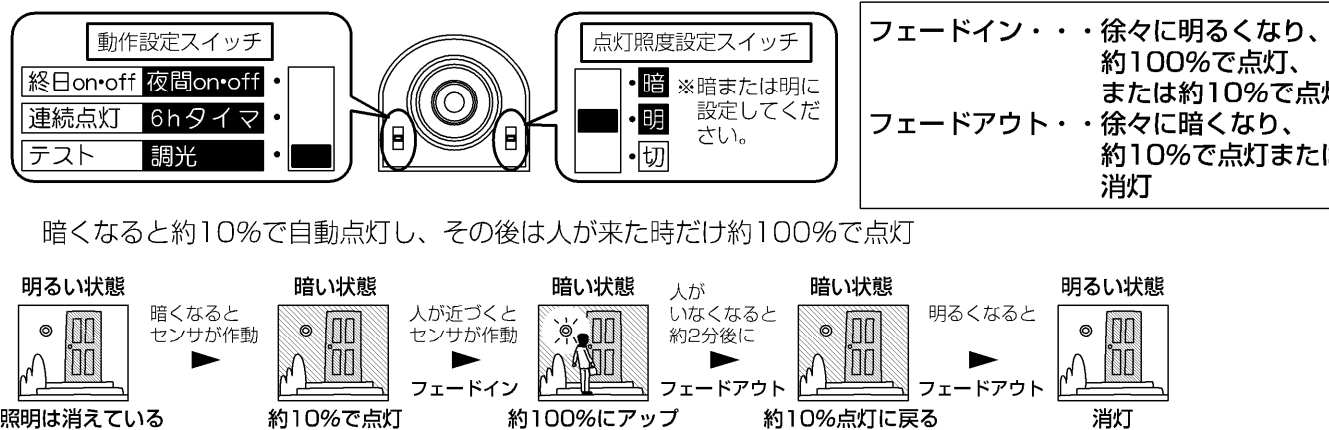
夜間オンオフモード



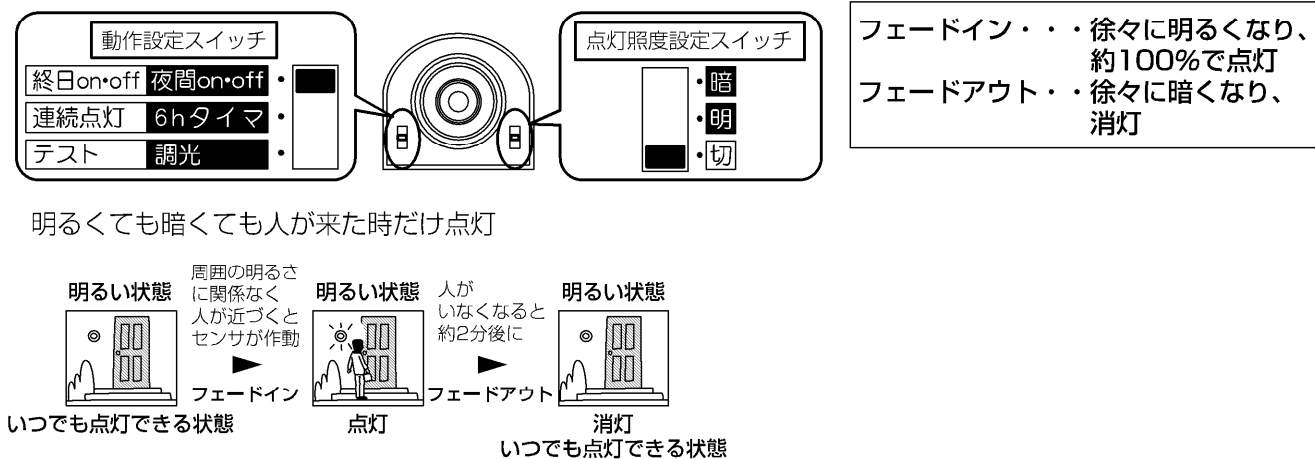
6時間タイマーモード



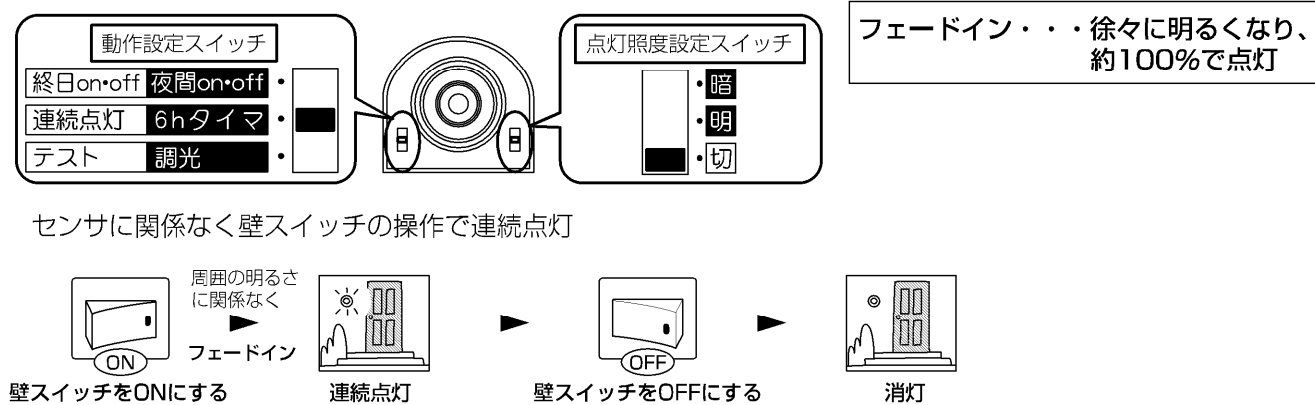
調光モード



終日オンオフモード



連続点灯モード



※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。